

30辰第1385号  
平成30年12月26日

辰野町長 武居 保男 様  
辰野町議長 岩田 清 様

辰野町監査委員 三澤 基孝

辰野町監査委員 宮下 敏夫

## 平成30年度 定期監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、平成30年度定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により報告します。

# 平成30年度 定期監査報告

## 1. 監査期間

平成30年11月5日～平成30年11月22日

## 2. 監査の実施箇所

総務課、支所、まちづくり政策課、住民税務課、診療所、保健福祉課、産業振興課、建設水道課、会計室、議会事務局、こども課、生涯学習課、辰野美術館、たつの未来館、パークセンターふれあい、図書館2箇所、小学校4校、辰野中学校、保育園6園、子育て支援センター、町立辰野病院

## 3. 監査の対象

町の経営に係る事業の管理と財務事務の執行状況及び行政事務に関する基本的事項について、地方自治法第199条第4項の規定に基づき平成30年度の上半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）における執行状況を対象として監査した。

実施に当たっては、全機関よりあらかじめ監査資料の提出を求めるとともに、前年同様に先機関の施設の維持管理及び営繕の面も併せて実施した。

## 4. 監査の要点

- (1) 計画的に予算執行されているか。
- (2) 収入事務は適正になされているか。
  - ① 調定事務の状況
  - ② 徴収事務の状況
- (3) 未収金に対する対策は適正になされているか。
- (4) 財産に関する取り扱い事務は適正になされているか。
- (5) 契約・検収事務は適正になされているか。
- (6) 国・県補助事業の事務処理は適正になされているか。
- (7) 各種団体への負担金、補助金の支出事務は適正になされているか。
- (8) 前年度指摘事項は改善されているか。

## 5. 監査の方法

平成30年度執行の経営および財務に関する事務が、法令等にのっとり適正に行われているかどうかを主眼とし、提出を求めた関係書類について精査し、各課から聴取による監査を実施した。

## 6. 監査の結果

財務に関する事務の処理状況は、各課等において計画的な取組みが成され、おおむね適正に執行されている。なお、軽微な誤りの箇所については、口頭で是正・訂正を促したので、今後は適正な処理をお願いしたい。

また、次のとおり一部に改善又は検討を要する事項が認められたので、内容を十分把握し、それぞれ必要かつ適切な措置を講じられたい。

## 1. 各課に共通する事項及び特記事項

- ・**事業・財務事務の執行面** 歳入について執行状況全体は順調に推移しているが、税や使用料等の滞納は引き続き課題である。抜本的な対策も含め、全庁的に対応を強化されたい。現年度分の未収を増やさず、過年度分については状況を見極め適切な処理を強化されたい。

歳出の予算執行状況もほぼ順調に進められているが、各種団体への補助金・交付金については、申請内容や実績報告を厳正に審査し、金額査定を一層厳格にされたい。また、新規の事業については、委託料等に見合う事業運営がされているか注視されたい。

- ・**事務・管理面** 起案書類等の決裁日等記入漏れについては大分改善されたが、まだ散見されるので注意されたい。

入札・契約書・検収は一部に不備があったものの調査した範囲では概ね良好である。補助事業チェックシートは調査した範囲では作成されておりほぼ良好であった。

- ・**人事管理面** 限られた人員の中で、業務量は増加し多様化している。1人ひとりの業務量も増えているので、仕事の効率化と適正配置が求められる。業務の性質上やむを得ない職場もあるが、一部の職員に時間外勤務が集中しないよう調整されたい。また、休暇取得も含め、職員の健康管理（精神面も含め）を留意されたい。

運転免許証の有効期限管理については、2回の調査実施で全員有効である旨報告があった。

また、引継書の内容について、懸案事項や特に注意する点等、重要と思われるもの、引き継いでいかなければいけない事項は細かい部分でも口頭ではなく記載されたい。

- ・**前回指摘事項** 前回の各課指摘事項に関しては概ね改善されている。これから改善に向け方向性が決定したのものもあるが、それら事項については的確に処理されたい。

内部統制の体制整備は、先々のリスクにつながりやすい項目をさらに抽出し、自己点検に加え進めてほしい。

## 2. 各課別意見等

### ○総務課

- ・時間外勤務・休暇管理など全庁管理は引き続き注視してほしい。
- ・公用車の管理は、総務課で直接管理を行っているものだけでなく、全公用車の管理が必要である。全ての車両が常に最新の状態で把握できるよう一覧表等作成し管理されたい。
- ・内部統制について町は努力義務であるが、自分たちの間違いをチェックするためのものがある事を再認識し、試行錯誤しながら拡大して行ってほしい。
- ・旅行命令簿については様式が不備であるので改められたい。

### ○まちづくり政策課

- ・今後の財政運営の課題として、人口減に伴い交付税の減少が懸念される。増収対策や、多額な繰出金先の事業展望をさらに検討されたい。
- ・ふるさと寄付金は減少傾向にあるので、今後の対策・方向性を検討されたい。
- ・町営駐車場の滞納を解消されたい。
- ・随意契約については、極力2者以上から見積もりを取られたい。1者の場合は理由を明確にしておくこと。

・平成30年6月12日付協働のまちづくり支援金事業補助金交付申請について、7月20日の公益社団法人への支払いは、申請者又は代表者でもない第三者に振り込みがされており、不適切な手続きとなっている。調査の上、至急善処されたい。

#### ○住民税務課

・本年上半期は、町税は増収となっている。また、各税の滞納について、収納率は毎年努力され改善しているが、交付金等が削減されているので、収納率向上により歳入を少しでも支えられたい。また、他課の料金等の未収金についても、滞納対策会議で方向性等を共有し、全庁的な収納・回収強化をお願いしたい。

- ・聖地管理手数料の未収金についても金額は小さいが個別に調査し回収努力されたい。
- ・新ごみ処理施設に伴う変更は、早目に町民に周知徹底されるよう対応願いたい。
- ・国民健康保険税については、1人当たりの医療費が増加している中、調定額は減少している。予防医療などの対策強化を検討されたい。
- ・診療所の経営については、今後も地域の状況、要望等も含め継続して検討されたい。

#### ○保健福祉課

・介護保険料の未納は年々増加している。個々の状況を把握することが大切であり、介護保険利用時まで待つのではなく、公平性の観点から工夫し改善策を検討されたい。

・保健師が育児休暇や退職により人員不足であり、業務分担に苦慮している。対応策を講じられたい。職員係と連携し計画的な採用も検討してほしい。

#### ○産業振興課

・指定管理については、事務局の方で引き続き運営主体の動向を確認しつつ運営状況を注視されたい。今後も実績報告時に状況確認（監査）を行う等体制を整えられたい。

・商工振興資金については、産業活性化のためにも、振興資金の活用促進をPRし、引き続き利用促進を進められたい。

#### ○建設水道課

・住宅使用料の滞納対策について、状況把握を行い回収が進んできた。今後も悪質なものは法令に従い必要な措置を検討されたい。特に現在居住している者については、滞納が継続しないよう厳しく対応されたい。

- ・水道料の滞納についても、過去からの多額な滞納のものは粘り強く対応されたい。
- ・引き続き専門的な職員の育成を計画的に講じられたい。
- ・道路の補修については、区から要望があるものはもちろん、緊急に要望があがる前に町内を巡回し、危険性の高い場所から順次補修を行ってほしい。

#### ○生涯学習課

・住宅貸付金の滞納については、調査、交渉中とのことであるが、古くからのもので空白期もあり難航中である。金額も大きいことから、公平性等を十分考慮し、弁護士と相談等、対応を検討されたい。

・たつの未来館については開始から半年経過した。運営委託している契約内容を見直し、来年度に向けてビジョンを明確にされたい。また、委託料に見合う運営管理がされているかよく見極め対応されたい。

・たつの未来館とパークセンターふれあいの金庫の使用方法が不適切である。たつの未来館については、町と委託業者が共同で金庫を使用しているため、責任の所在が不明確である。それぞれ独自の物を設置するなど対応されたい。また、利用料等の銀行への納付が月に1度しか預けていないようであるが、金額も大きいとため預け入れの方法等を早急に検討されたい。金庫の内容物については、明確な基準をつくり対応されたい。

- ・町図書館については、正規職員の配置を検討されたい。
- ・町図書館では貸出冊数が減少している。子どもたちの利用促進を図られたい。

#### ○こども課

・一部の職員に業務が集中しているため、業務を分散、平準化できないか検討されたい。

・保育料の現年度分の滞納は改善されているが、過年度分の滞納については、回収の方法を模索し、個々の調査・整理を進められたい。

・虐待等懸念される事案については、特にフォローされたい。市町村間を移動する場合には特に留意されたい。

#### ○各小中学校

・施設整備・修繕については、教育委員会が適宜対応している。今後も優先順位等相談の上順次実施されたい。

・安全対策については、今後も継続し対策を図られたい。

・ここ数年不審者情報に関してほとんど耳にしないが、登下校一人になる場所、安心の家がない場所については今後も注意喚起されたい。

・辰野中学校第二体育館については、雨漏り等の整備は終了したが、窓が開かない等猛暑に対応できないため、来夏に向けて対応を検討されたい。

#### ○各保育園

・各園とも園付近の危険箇所（交通含む）の安全対策や防災対策を実施されているが、今後も引き続き実施されたい。

・給食材料の賞味期限切れなどに留意し、安全衛生対策も引き続き強化されたい。

#### ○辰野病院

・上半期外来患者の減少は止まりつつあるが、医業収益は減少している。一方、経費は人件費を中心に医業収益の60%を超えるなど過大と推測される。4つの改善プロジェクトチームで職員の意識改革を図っており、少しずつ効果が表れているが、全体の経営改善は引き続き重要な課題である。具体策を立て一層取り組まれたい。

・未収金は、現年度分は増加させないこと、過年度分は個々の交渉記録を活用することで、課内の情報を共有し回収促進を強化されたい。特に十数年来の古いものもあるので、対応を強化されたい。

## 7. 総体所見・要望

人口減少の中、将来的に税収の伸び悩みや交付税が減少傾向にあることを念頭に、高機能なコンパクトタウン等将来のビジョンを描き、利便性にすぐれた安全安心で住みやすいまちづくりを進められたい。

歳入における自主財源の根幹である町税は、本年度は増加（上半期比較）している。景気の回復や税制改正により全体では増加が見られた。しかし、人口減に伴う交付税の減少については、先行き不安材料であり、今後の増収対策は引き続き大きな課題である。また、各税の収納率は上昇が見られ努力されているが、税以外で滞納対策業務に手が回らない部署もあるため、内部の体制調整が必要と思われる。

歳出においては、上半期の事業執行はほぼ順調に行われている。定例化している事業や負担金・補助金等は改めて適正か、手続きは正しいか等、厳しく見極めてほしい。

また、事業の内容も見極め、今後のためにやっておくべきこと、割愛していくものなど必要な布石を打っていくよう要望する。

事務管理面では、前回指摘事項等は多くの課で改善が見られたが、記入漏れ等軽微なものはまだ散見されるので対応されたい。

人事管理面は、適正に人員を配置することで、慢性的な時間外勤務は昨年度より改善されてきた。しかしまだ一部の職場で時間外勤務の偏りが散見される。限られた職員の中で職務を遂行するため互換性を高め業務量の平準化を図られたい。

多くの事に管理責任が厳しく問われる昨今、職員が一人で問題を抱え込むことのないよう職場内の相互支援・職場環境の整備を進め、住民福祉の増進に寄与されるようお願いしたい。